

評価の方法

4 評価できる 3 やや評価できる 2 やや評価できない 1 評価できない

学校教育目標	中・長期目標
誠実にして勤勉、謙虚にして明朗、平和を愛し、国家・地域社会の有為な形成者の育成を図る。	1 多部制単位制の特色を生かして、主体的に学ぶ姿勢を育成し、学力の定着を図る。
	2 多様な生徒の個性を大切に、きめ細かな教育を実践する。
	3 地域からの信頼を高め、地域を担う人材を育成する。
	今年度の重点目標
	1 日々の学習成果を実感できる授業の実践に努める。
	2 いじめ・体罰のない、生徒にとって安心安全な環境を確立する。
	3 基本的生活習慣と、自ら学び、自ら行動できる力を育成する。
	4 生徒の進路希望実現のための計画的進路指導を展開する。
	5 地域との連携・交流と活力ある学校づくりを推進する。
	6 生徒の危機管理意識を高め、健康の保持増進を図れる環境を整える。

領域	分野	評価項目(関連する重点目標)	評価の観点	評価(平均)
教 育 活 動	学 習 指 導	(1) 落ち着いた学習環境づくりと授業内容・指導方法の研究と工夫(1)	○生徒が授業に集中して取り組む環境をつくるために、授業前の教材準備および着席指導等を積極的に行うことができたか。	3.1
			○生徒が意欲的に授業に取り組めるように、授業内容・授業方法について研究・工夫・改善に努めたか。	2.8
	生 徒 指 導	(2) 生徒一人一人の能力と個性の伸長(1・4)	○生徒の能力や個性を伸ばすために、少人数・習熟度編成や体験型授業を活用することができたか。	2.8
			○読書活動や各種資格試験・検定、校外学習に、生徒が意欲的に取り組み、その成果を認定できたか。	2.9
	生 徒 指 導	(1) 生徒間及び生徒教師間の良好な人間関係の構築(2・3・6)	○いじめや暴力、体罰等のない良好な人間関係を築くための力を育てることができたか。	2.8
			○携帯電話やインターネット等情報通信機器の使用方法について、生徒が正しい知識を持ち、適切に利用できる資質を育てることができたか。	3.0
		(2) 自己指導力の育成(3・6) (他者の尊重・判断力・行動力)	○制服着用のルールを理解し、無断欠席・遅刻・早退・外出をなくし、規律ある学校生活を送るための態度を育てることができたか。	3.1
			○社会人としての意識を育て、校外においても交通法規等社会のルール、公共のマナーを守れる態度を育てることができたか。	2.7
		(3) 生徒理解を深める支援体制の充実(1～4)	○生徒の教育的ニーズに応じた指導内容や指導方法の工夫を、組織的・計画的に行うことができたか。	2.5
教 育 活 動	進 路 指 導	(1) 生徒の進路志望の実現(4)	○進学希望者の志望校への合格、就職希望者の卒業までの就職先決定が達成できたか。	2.5
			○進路指導体制について、校内での意識統一と協力・連携が十分図られたか。	2.8
	特 別 活 動	(2) キャリア教育の充実(4・5)	○1～4年次の成長段階に応じた勤労観・職業観を養い、個々の生徒のライフプランニングに生かすことができたか。	2.5
			○就業体験、奉仕体験活動等、地域社会とも連携協力してキャリア形成に必要な能力や態度を育む機会をつくること	2.7
	学 校 運 営	(1) クラブ活動の活性化(3・5)	○クラブに加入した生徒が、日常の活動や各種大会、行事への参加を通して高校生活を充実したものにする一環にできたか。	2.8
		(2) 生徒会活動の充実(3・5)	○生徒会行事を通して、コミュニケーションや自己表現を行う、責任感や達成感を得るなど、社会人基礎力の養成につながる活動ができたか。	2.4
学 校 運 営	校 特 色 あ る 学 校 運 営	(1) 多部制単位制の充実(1・5)	○多部制・単位制の特色を生かした教育課程を編成することができたか。	2.6
			○系列をはじめとする各教科の学習や総合的な探究の時間を通して、生徒の主体的な学びに結びつくような指導計画を立てることができたか。	2.7
	開 か れ た 学 校 運 営	(1) 広報活動の充実(5)	○公開授業、体験入学、学校説明会等を通して、本校への理解を深めてもらうことができたか。	2.7
			○東御清翔トピックスやホームページなどを通じ、学校の様子を広く知らせることができたか。	2.5
	開 か れ た 学 校 運 営	(2) PTA・同窓会及び地域との交流と連携(5)	○学校評議員、地域モニター、及び「東御清翔を育てる会」の提言助言を教育活動に活かすことができたか。	2.8
			○保護者・同窓会員・地域社会に学校の教育活動について周知し学校行事等への理解と協力は得られたか。	2.5